

## 資料 9

中央教育審議会大学分科会  
 教学マネジメント特別委員会  
 (第4回) H31.4.26

# 教学マネジメント特別委員会 審議ロードマップ (改定案)

回次		審議内容
第9期中央教育審議会	第1回 (2019年12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座長の選任等について</li> <li>・本特別委員会の審議事項について</li> </ul>
	第2回 (2019年1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 三つの方針に基づく学修目標の具体化</li> <li>② 授業科目・教育課程の編成</li> </ul>
	第3回 (2019年2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 授業科目・教育課程の編成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの編成の高度化 (ナンバリングや履修系統図の活用、編成への外部人材の参画等)</li> <li>・柔軟な学事暦の運用</li> <li>・アクティブ・ラーニングやICTを活用した教育の推進</li> <li>・主専攻・副専攻の活用</li> </ul> </li> </ul>
第10期中央教育審議会	第4回 (2019年4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 授業科目・教育課程の編成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスにおいて標準的に期待される記載事項の提示</li> <li>・履修単位の上限定 (CAP制) の適切な運用</li> <li>・履修指導体制の確立 (学修ポートフォリオの構築、TAや履修アドバイザーの活用等)</li> </ul>                             (※学修時間の確保については全体の中で議論)                         </li> </ul>
	第5回 (2019年5月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 成績評価                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価基準の適切な運用 (ルーブリックの活用、GPAの算出と活用等)</li> </ul> </li> </ul>
	第6回・第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 学修成果の把握・可視化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修成果の可視化 (学生個人の学修成果の把握、学生による授業評価の在り方等) ※省令により義務付ける項目も含む。</li> </ul> </li> </ul>
	第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 教学マネジメントを支える基盤                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD、SDの高度化、IR体制の確立</li> </ul> </li> </ul>
	第9回・第10回	⑥ 情報公開の在り方について
	第11回・第12回	⑦ 教学マネジメント指針案の提示・省令改正案の提示

制度改正及び周知 (2020年度中を目処)